2021年９月21日

各　位

会 社 名　株式会社ピースリー
代表者名　代表取締役社長兼CEO　藤吉　英彦
（コード番号：6696　東証マザーズ）
問合せ先　取締役CFO　青栁　貴士
（TEL.03-3239-2020）

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○　開催状況

開催日時　　2021年９月21日（火）　15:30（動画の公開日時）
開催方法　　コーポレートサイトにおける決算説明動画の掲載
URL　http://www.pthree.co.jp/ir/

【添付資料】

説明会において使用した資料「2022年１月期　第２四半期　決算説明資料」

以上

2022/1月期 Q2 決算説明会

2021年9月21日

証券コード：6696　東証マザーズ

Platform Planning & Product

目次
contents

1. 新型コロナウィルス感染症拡大の主な影響（P3）

2. 2022/1月期 Q2　決算概要（P4～P11）

3. 2022/1月期 業績予想（P12～P16）

4. 事業別の状況（P17～P28）

5. 参考資料（P29～P43）

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

DOOH広告への影響

昨年よりも緩やかな需要回復が予想されるも、美容サロンサイネージDOOHメディアへの広告主様の広告出稿意欲回復まで時間がかかっており、更に他各Platformへの展開にも広告展開が伴うことから事業予測が難しくなっている。

製造・開発体制への影響

渡航制限により、海外工場でのファブレス製造・開発体制の構築に多くの時間が必要となっており、納期の正確な読みが難しくなっている。

半導体不足の影響

STB、新製品BIRDSAFE、BIRDEYESの製造に不可欠な半導体が世界的に不足しており、納品リードタイムの長期化、原価の高騰に伴い、商談の成立に時間がかかっている。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

2022/1月期 Q2 決算概要

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

2022/1月期 Q2 決算概要

業績ハイライト

業績	期初計画の範囲内で進捗。PPP事業への経営資源投下による下期売上拡大を目指し積極的に仕込む。新型コロナ拡大による影響も踏まえ、台湾支店閉鎖等の経費削減策も実施。 売上高 182百万円 YonY 46.3%減 営業利益 △196百万円 YonY —
Platform,Planning &Product事業※	美容サロンビジネス：2021年7月末に15,614台の出荷が完了。 各ロケーションへの広告配信収益、VIEWGATE納品も売上寄与。前期比売上大幅増。 売上高 82百万円 YonY 281.9%増
受注型Product事業※	STB大規模案件（教育支援ソリューション用途）受注。一部Q3に納期ずれこみ前期比減。 売上高 48百万円 YonY 79.3%減
テクニカル サービス事業※	システム受託開発案件前期比減となるも、エンジニア派遣横ばい。 エンジニア派遣は需要も見込めるため、下期に仕込みを推進。 売上高 51百万円 YonY 38.5%減

2021年7月31日付で台湾支店を閉鎖

◎台湾ドルの値上りによるコスト上昇の回避。

◎開発拠点を国内に一本化し、効率化。

※2022年1月期より、セグメント名称を変更しております。Platform,Planning&Product事業は以下、PPP事業と表記。

※2021年3月31日付でTRANZAS Asia Pacific Pte. Ltd.の全株式を譲渡いたしました。これにより、2022年1月期（通期）は非連結の開示となり、第1四半期より単体の業績を開示しておりますので、YonY増減率は前年同期の単体の業績と比較した数字を記載しております。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

2022/1月期 Q2 決算概要

PLサマリー

単位：百万円	2022/1月期 Q2 実績	2021/1月期 Q2 実績	YonY
売上高	**182**	**340**	**△ 46.3%**
売上総利益	47	140	△ 66.5%
売上総利益率	25.9%	41.3%	△15.4pt
販売管理費	243	201	20.9%
営業利益	**△ 196**	**△ 60**	**－**
営業利益率	－	－	－
経常利益	**△ 205**	**△ 60**	**－**
経常利益率	－	－	－
当期純利益	**△ 209**	**△ 78**	**－**

大型STB販売（高粗利案件）の受注減により売上総利益が低下

販売費の増加は主に研究開発費増25M、合併（2020年5月）による人件費増10Mによる

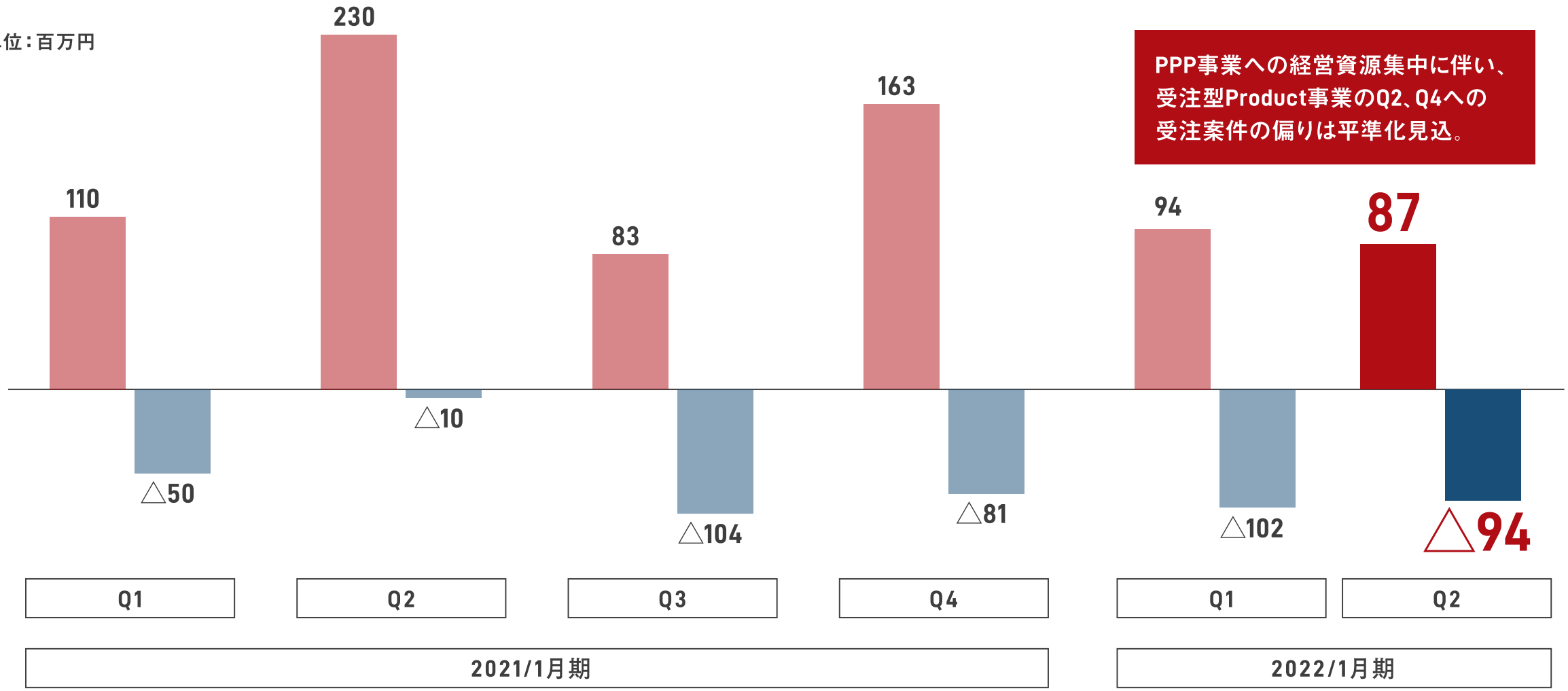
※2022/1月期の第１四半期より単体の業績を開示しておりますので、2021/1月期の業績も単体の数字を記載しております。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

2022/1月期 Q2 決算概要

売上高及び営業利益推移

単位：百万円



※2022/1月期の第１四半期より単体の業績を開示しておりますので、2021/1月期の業績も単体の数字を記載しております。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

2022/1月期 Q2 決算概要

事業セグメント別売上高

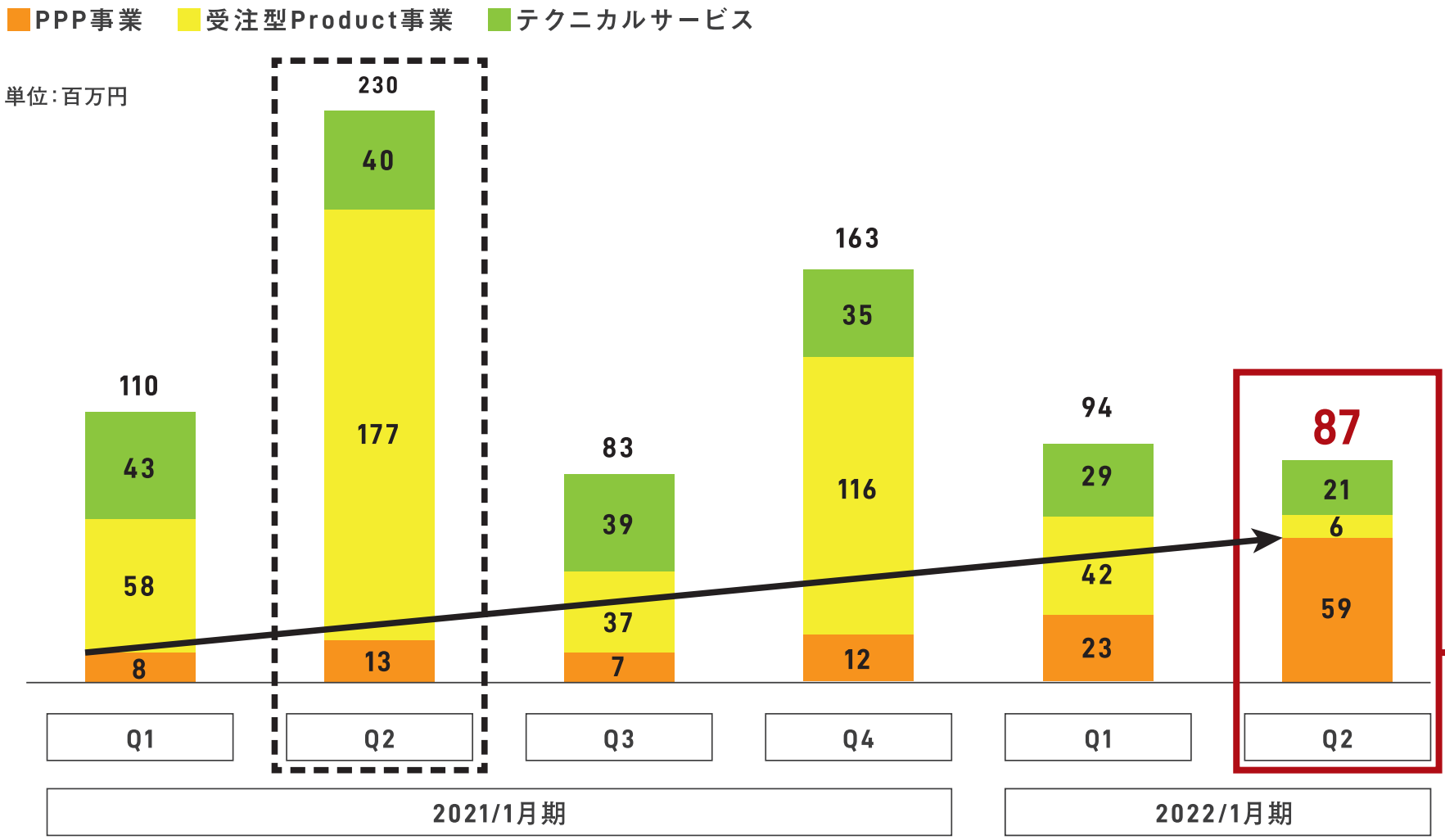
単位：百万円	2022/1月期 Q2 実績	2021/1月期 Q2 実績	YonY
売上高	182	340	△46.3%
Platform,Planning &Product事業	82	21	281.9%
受注型Product事業	48	235	△79.3%
テクニカルサービス事業	51	83	△38.5%

※2022/1月期の第１四半期より単体の業績を開示しておりますので、2021/1月期の業績も単体の数字を記載しております。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

2022/1月期 Q2 決算概要

事業セグメント別売上高推移



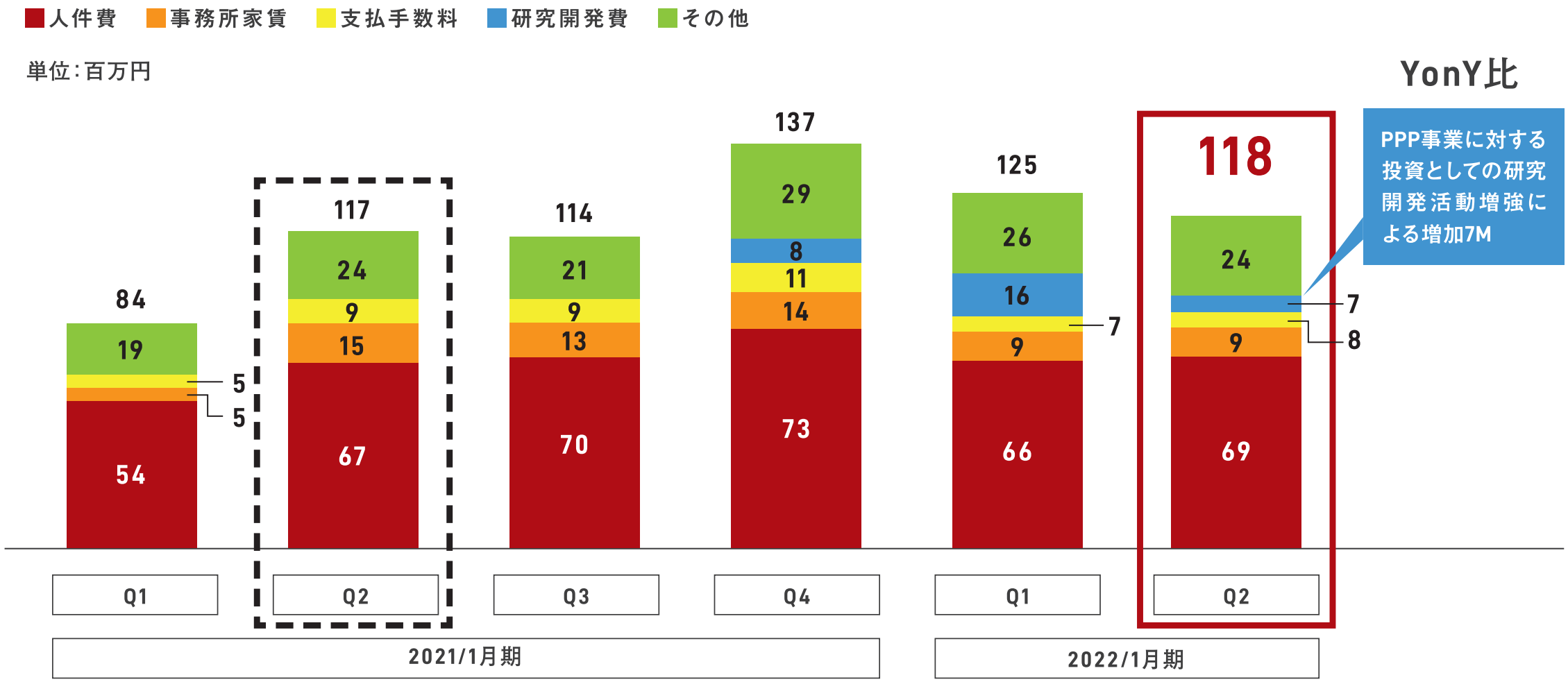
PPP事業は前年比281.9%増。
受注型Product事業の大幅減は、前期Q2での大型STB案件受注の反動減、STB案件のQ3への納期ズレによる。

※2022/1月期の第1四半期より単体の業績を開示しておりますので、2021/1月期の業績も単体の数字を記載しております。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

2022/1月期 Q2 決算概要

販売管理費推移



※2022/1月期の第１四半期より単体の業績を開示しておりますので、2021/1月期の業績も単体の数字を記載しております。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

BSサマリー

単位：百万円	2022/1月期 7月末	2021/1月期 1月末	増減
流動資産	393	651	△258
現金及び預金	230	432	△202
固定資産	256	274	△17
資産合計	650	926	△276
有利子負債	62	102	△40
無利子負債	69	97	△27
純資産	517	726	△208
負債・純資産合計	650	926	△276

銀行借入金返済△40M

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

2022/1月期 業績予想

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

企画～製品開発～メディア化までピースリー1社で提案可能

Platform, Planning& Product事業

新プラットフォーム企画提案・アライアンス強化

人々がサービスを受ける場としてのロケーションを有する多様なパートナー様への企画提案、アライアンスを推進（デジタルガレージ社、ダリア社、長野トヨタ社、コーユーレンティア社、広島大学 etc）

総合的なロケーションメディア化推進

広告主様のニーズを捉えた魅力的な広告、コンテンツ配信を、自社設計のIoT機器とクラウド経由の配信によりサービス提供し、総合的なロケーションメディアとして展開

P3自社開発の新しい製品の創造

新プラットフォームの企画提案に沿った自社設計・EMS製造における価格競争力のある製品開発

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

P3事業 成長方針

広告主

広告出稿

総合的なロケーションメディア

Platform,Planning &Product事業

受注型 Product事業

STB 等

テクニカル サービス

他社システム開発保守、エンジニア派遣

ロケーションオーナー・パートナー企業

人々が集まりサービス提供を受けている場所





広告配信技術・魅力的なコンテンツ

美容サロン サキザキテルコ	長野トヨタ（自動車ディーラー）	商業ビル ビルサイネージ	コーユーレンティア 建設現場
・全国3,000店舗 ・設置ネットワーク18,000台	・次世代型ショールーム ・販売店舗60店舗	・400ビル　・トイレ（40,000個室） ・エレベーター	・毎月1,000箇所以上 ・サイネージ（仮囲い、休憩所、会議室、事務所、朝礼会場）

P3自社設計の価格競争力あるProduct開発・提供



BIRDSAFE



BIRDEYES



VIEWGATE



PX-1000

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

2022/1月期 業績予想

Platform Planning & Product

通期の業績予想はPPP事業の下半期の売上寄与を見込んでおり、上半期までの進捗率は概ね期初予算通りの進捗。
ただし、新型コロナウィルス感染症拡大の影響による半導体不足により、主要商品の調達・納品に遅れが出る可能性があるため、下期に影響が出る可能性も想定し、調達先との交渉や新たな調達先の選定等の対策と、経費支出の抑制を実施し、黒字化に向けた体制構築を急ぐ。

単位：百万円	2022/1月期 Q2 実績	2022/1月期 通期 予想	進捗率
売上高	182	1,232	14.8%
売上総利益率	25.9%	40.7%	–
営業利益	△ 196	10	–
営業利益率	–	0.9%	–
経常利益	△ 205	4	–
経常利益率	–	0.4%	–
当期純利益	△ 209	3	–

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

セグメント別業績予想

単位：百万円	2022/1月期 Q2 実績	2022/1月期 通期 予想	進捗率
売上高	182	1,232	14.8%
Platform,Planning &Product事業	82	1,006	8.2%
受注型Product事業	48	131	37.1%
テクニカルサービス事業	51	95	53.5%

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

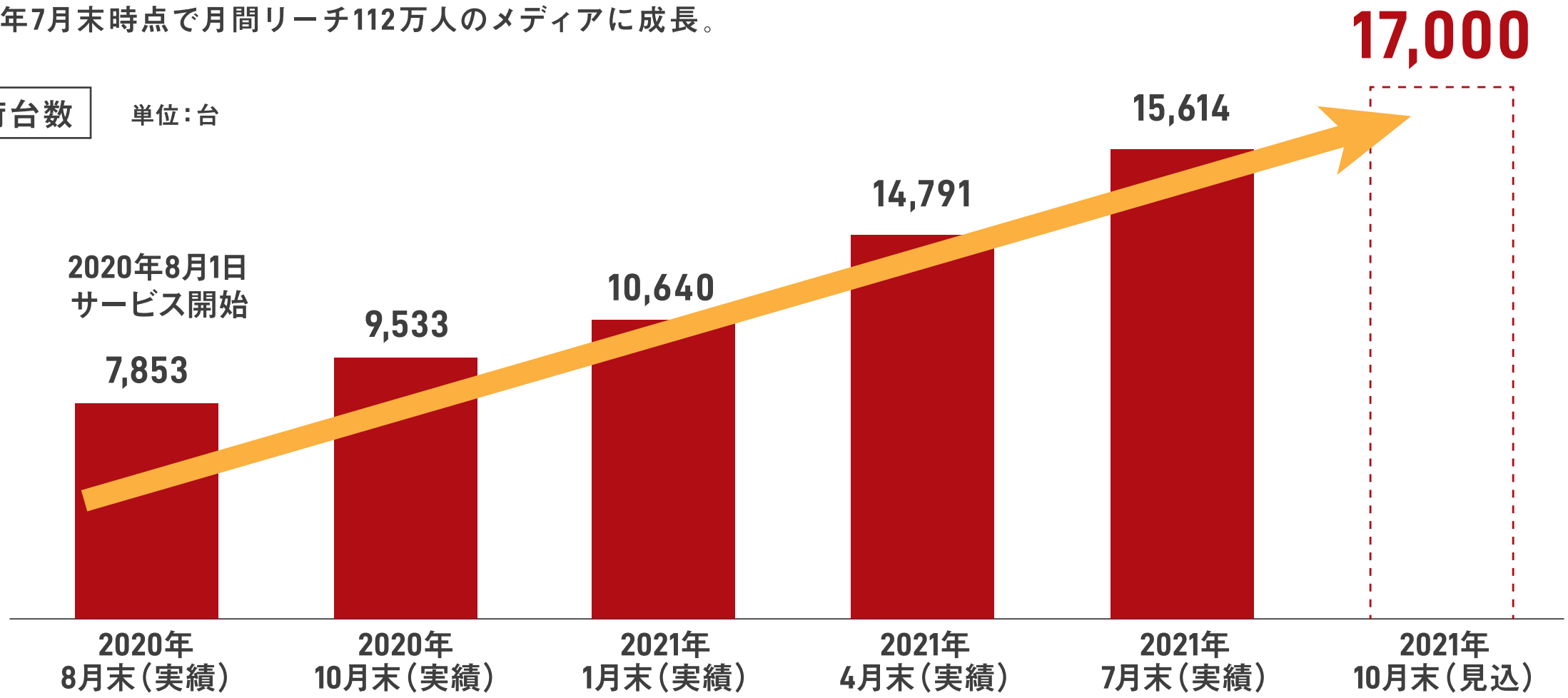
事業別の状況

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

美容サロン向けサイネージ

2021年7月末に15,614台を達成。2021年10月末までに17,000台を目指す。
2021年7月末時点で月間リーチ112万人のメディアに成長。

出荷台数　単位：台



Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

美容サロン向けサイネージ

新型コロナウィルス感染拡大による更なる緊急事態宣言発令に伴い、
広告主様の広告出稿意欲が鈍化しているものの、着座再生率向上等への注力によるメディア価値向上と
積極的な美容サロンサイネージのマーケティング施策による認知向上を図り、下期売上寄与を目指す。

P3クラウド配信



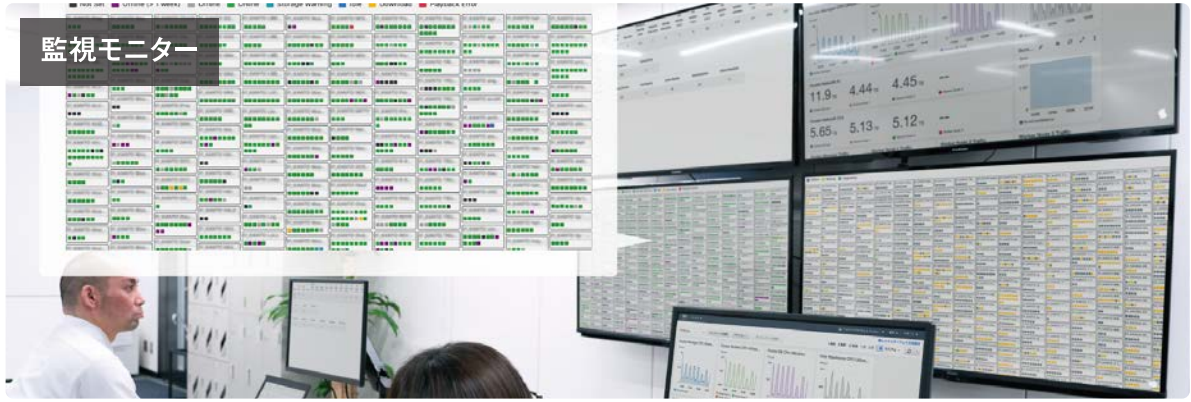
着座判定システム“eve”



魅力的なコンテンツ



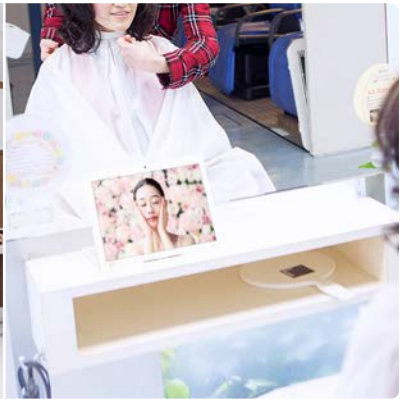
監視モニター



設置イメージ







Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

長野トヨタ社との業務提携

本社ビルのサイネージ設置やコンテンツ制作、販売店舗へのサイネージ設置の今下期以降の展開に向け進行中。

※2021年8月の長野県での記録的豪雨による水害の影響に注視。

［長野トヨタ本社］ 2022/1月期 Q4予定





［販売店舗］ 2022/1月期 Q4 ～ 2023/1月期 上期予定



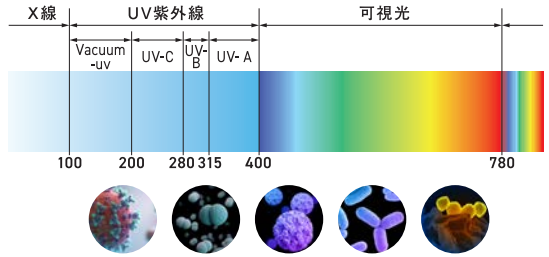
Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

BIRDSAFE

2022/1月期 Q4納入予定。新型コロナウィルス拡大を見据え、引き合いを受けた大型受注に向けた複数商談を推進。今下期への売上寄与を見込む。

※新型コロナウィルス拡大による納期影響を注視。





紫外線は新型コロナウイルスを含めウイルスや細菌など病原微生物全般の不活化に有効です。P3社の製品には広島大学で有効性の確認を行った紫外線装置を使用しています。本製品は人に照射せず安全性を確保した上で、自然な形で生活空間に取り込まれる点が特徴です。紫外線の特徴を生かして、安心で安全な環境につながることを願っています。

国立大学法人広島大学病院 感染症科 大毛宏喜 教授

多彩なシチュエーションと展開商品









※製品は開発中の為イメージです。　※本製品は、法人企業様向けのBtoB展開を予定しております。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

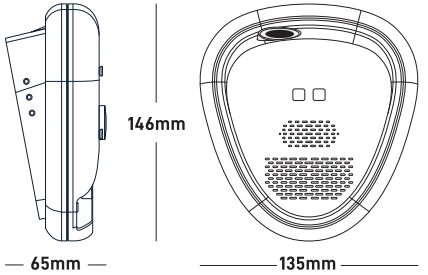
BIRDEYES

2022/1月期 下期予定

今まで設置が難しいと考えられていた場所への新しいDOOH製品として大手小売店舗等からの問い合わせや商談が進行中。新型コロナウィルス拡大による半導体不足により開発・製造に遅れが発生しているものの、今下期への販売開始に間に合わせるべく進行中。

※新型コロナウィルス拡大による納期影響を注視





空間に可能性を

本来、店舗でのサイネージは天井からの吊り下げが理想です。しかしながら実際に導入に至らない事情が多くありました。それらの問題をバードアイズが乗り越え、新たなる店舗サイネージの可能性を広げます。

従来の天井吊り下げ型



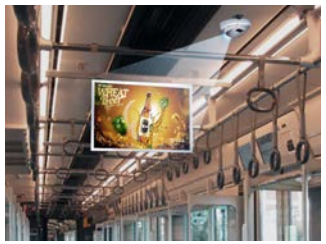


BIRDEYES



［多彩なシチュエーションと展開商品］

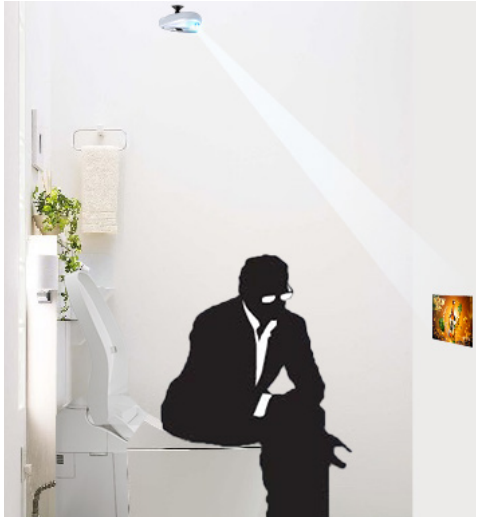
天吊りパネルに照射



壁面パネルに照射



壁面に直接照射



※製品は開発中の為イメージです。　※本製品は、法人企業様向けのBtoB展開を予定しております。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

コーユーレンティア社との業務提携

2022/1月期 下期予定

建設現場市場に、サイネージ端末及び映像配信システムの設置を展開予定。配信システムの統合及び、広告ビジネスを通じて取得したデータを解析・活用し、新たなサービスを構築予定。

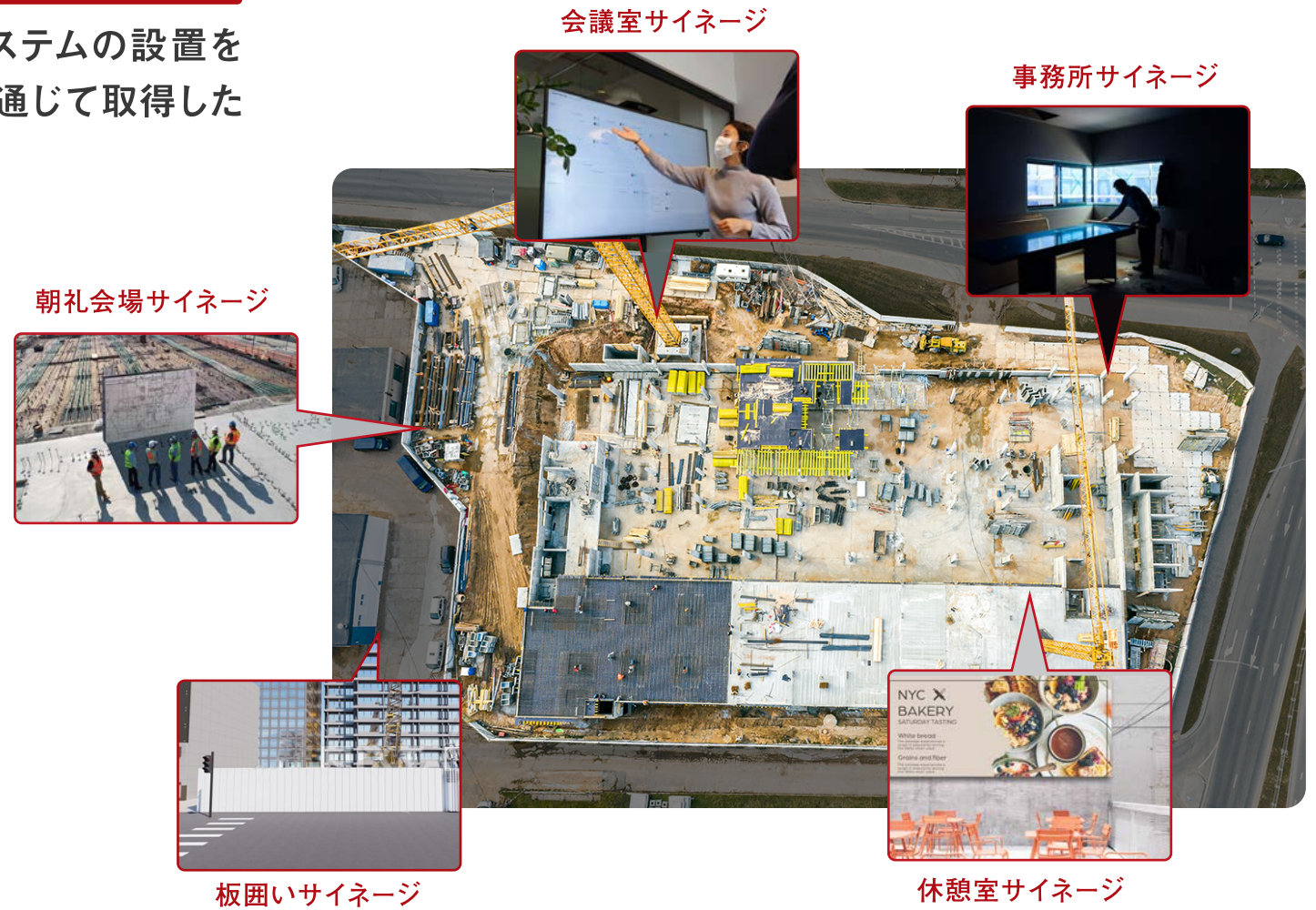
広告主

広告出稿

LEDサイネージ設置、クラウド広告配信管理、魅力的なコンテンツ

P3 Koyou Rentia Creative Rental Company

単一システムで一元管理



Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

商業ビル

商業ビルへのビルLEDサイネージ（VIEWGATE）設置案件や、商業ビルオーナー様へのPlatform事業提案が進行中。当社の新商品も提案し、商業ビルオーナー様が所有するの多くのビルへの導入を目指す。

モール内



モール内通路





屋外サイネージ



Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

P3-Signage

携帯キャリアショップなどへの4K映像対応サービスの提供が順調に増加。今後のDOOH展開における広告・コンテンツ配信の要であり、そのシンプル・簡単で直感的な操作感を徹底的に追及した番組配信が可能。バージョンアップによる既存取引先需要、新規DOOH取引先への導入を目指す。

［導入事例］

導入企業：◎某大手コンビニエンスストアチェーン（最大2,100店舗設置実績あり）　◎某空港ビル　◎某中古車販売チェーン 等





※画像はイメージです。

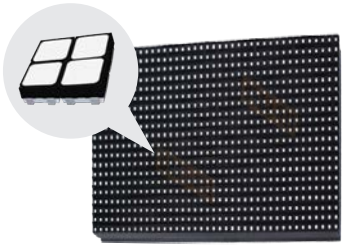
Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

VIEWGATE

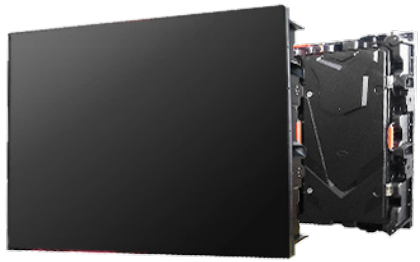
公共施設向けや法人エントランス等に向けて設置が進捗。公共施設向けの製品もQ2に受注を受け下期設置完了予定。屋内屋外問わず、PPP事業での戦略商品として、様々なロケーションオーナーへ展開予定。

VIEWGATE

モジュールの組み合わせによって大きさを自由に調整する事が可能です。設置場所に応じて適切なサイズでご提案いたします。「人が多く集う場所を心から安らげる空間」へ。LEDサイネージによる全く新しい技術をお届けいたします。



Module



Cabinet

［導入事例］大手通信キャリア店舗 / 結婚式会場 など









Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

STB（セットトップボックス）

教育支援ソリューション用途での大型案件を受注。機能特化型コンピューターとして様々な場面に応じて活用可能なターミナル。
取引先のIoT展開でのニーズ、用途に合わせ設計・開発を進め売上拡大を目指す。

[導入事例]

ホテル向けSIer（全国のビジネス、シティ、レジャーホテルへの導入）
国内大手メーカー、SIer（官公庁、地方自治体、放送局、文教市場への導入）

[利用例]

ホテル用途

◎インフォメーション機能：ホテル内の施設案内、近隣施設の情報やイベント情報、ホテルからのメッセージ等を表示。
◎VOD機能：海外/日本の映画、ドラマ、アニメ等の放送。
◎オーダリング機能：ホテル内/外（デリバリ）で販売している飲食物の注文機能。
◎リネンシステム機能：客室清掃の要/不、完了/未完等を清掃員に視覚的にお知らせする機能。
◎アクセスポイント機能：宿泊者のモバイル端末向けのWifi機能。

その他

◎監視ソリューション（防災等）：監視カメラからの映像受信、Live/VOD（録画）視聴等。
◎放送/モニタリングソリューション：Live中継、イベント放送、映像品質のモニタリング等。
◎教育支援ソリューション：Live/VOD視聴や電子黒板、プロジェクタ機器等と連携したe-ラーニング等。
◎データ変換ソリューション：他の機器から収集したデータを変換/伝送し利用者へのイベント通知等。
◎その他：映像によるインフォメーションや、娯楽、社内放送用途として。



Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

Technical Service

上半期はシステム受託開発案件は一部減少したものの、取引先からのエンジニア派遣への一定のニーズを踏まえ、下期に向けた売上拡大施策を推進予定。更なる安定した月額収益の獲得を目指す。

［導入事例］

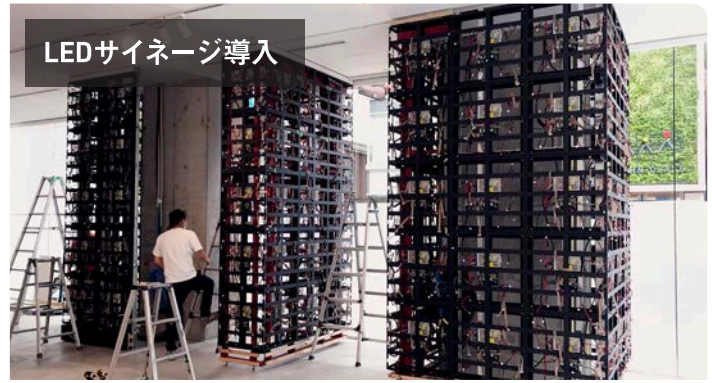
受託開発

◎ブライダル事業者様向け婚礼、イベント受発注システム
◎カー用品事業者様向け
・売上実績管理システム
・ピット作業予約管理システム
◎小売業様向け受発注管理システム

導入支援事例

◎ブライダル事業者様向け
・通信ネットワーク環境の改善
・マルチモニタ導入
◎カー用品事業者様向け統合ビジネスソリューション（ERP）
◎資格取得学校運営事業者様向けＥＣサイトのクラウド移行









※画像はイメージです

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

参考資料

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

本社

会社名	株式会社ピースリー（旧：株式会社トランザス）
上場市場	東京証券取引所マザーズ市場（証券コード：6696）
役員	取締役会長C.E.O　寺山 隆一 代表取締役C.E.O　藤吉 英彦 取締役 C.F.O　青柳 貴士 取締役　洲脇 充央 取締役（監査等委員）　岡安 俊英 取締役（監査等委員）　佐々木 豊 取締役（監査等委員）　原口 昌之
創立	1995年1月26日
資本金	442,900千円（2021年7月末日現在）
所在地	〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4番3号 泉館紀尾井町3F

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

世の中に無い新しい製品・サービスの創造

いかなるサービスも人の為であり、

そのサービスの仕組みやビジネス上の仕掛けの為ではありません。

いかなるビジネスも「その先に人がいる」ことを忘れず、

我々は利用者への価値の提供を第一に考えます。

人々が集まりサービス提供を受けている場所のロケーションオーナー等に、総合的なロケーションメディアを構築することを企画提案（Platform＆Planning）し、P3の自社設計の価格競争力のある幅広いProductと共に唯一のメディア価値を創造します。

広告主

広告出稿

最善の
ソリューション提供

P3
総合的
ロケーションメディア
Platform,Planning
＆Product事業

ロケーションオーナー・パートナー企業
（人々が集まりサービス提供を受けている場所）



［美容サロン サキザキテルコ］
・全国3,000店舗
・設置ネットワーク18,000台



長野トヨタ（自動車ディーラー）］
・次世代型ショールーム
・販売店舗60店舗



［商業ビル ビルサイネージ］
・400ビル・トイレ（40,000個室）
・エレベーター

Koyou Rentia
Creative Rental Company

［コーユーレンティア建設現場］
・毎月1,000箇所以上　・サイネージ
（仮囲い、休憩所、会議室、事務所、朝礼会場）

広告配信技術 ・ 魅力的なコンテンツ / P3自社設計の価格競争力のあるProduct開発・提供



BIRDSAFE



BIRDEYES



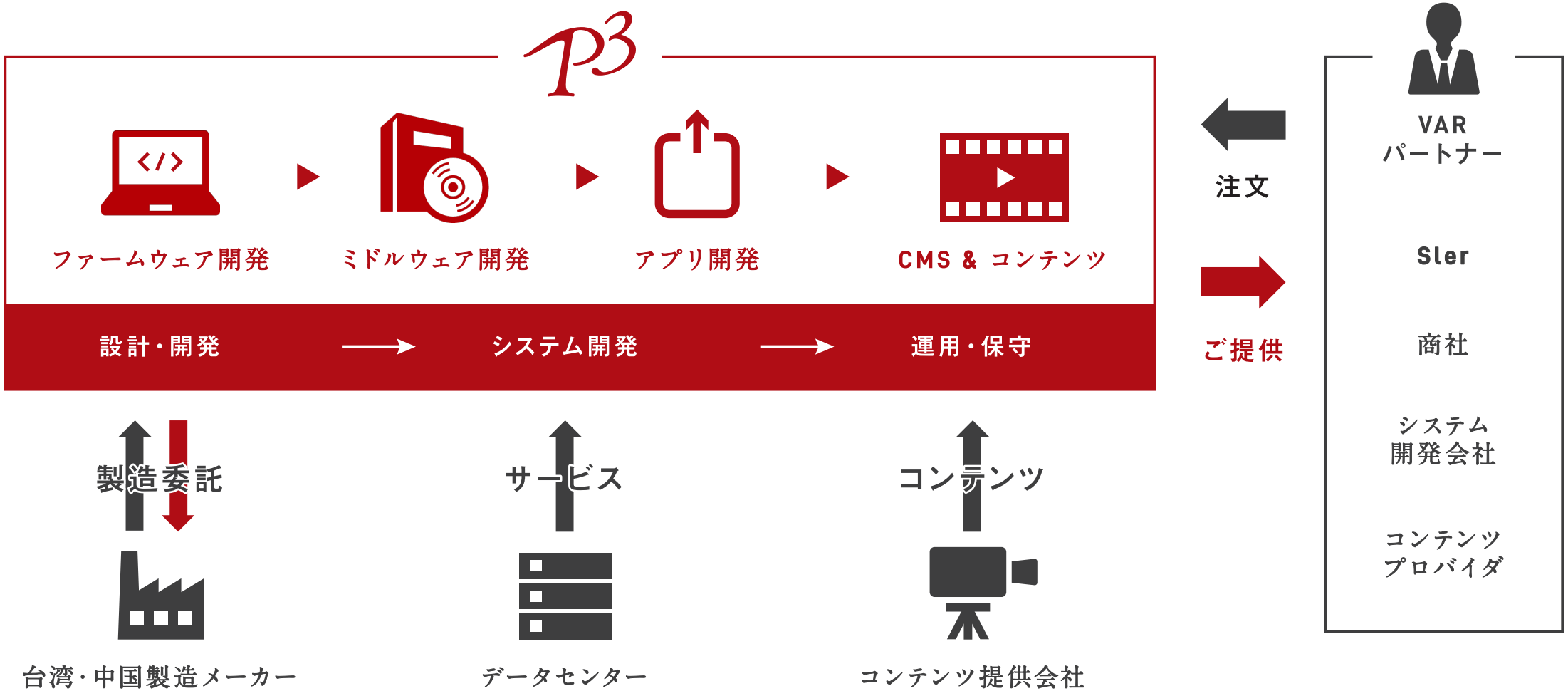
VIEWGATE



PX-1000

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

ターミナル※の設計・開発から運用保守までの完全垂直総合を実現し、VAR（パートナー）が望むターミナルを柔軟に開発しご提供いたします。



※通信機能を持ったIoT端末や機器装置

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

VAR（Value Added Reseller：付加価値再販パートナー）との協業について

当社ターミナルに価値を付加し再販する事業者をVARとし、VARと協業することで事業拡大を図っております。VARが当社ターミナルに価値を付加し、様々なマーケットや顧客に横展開することで、当社ターミナルは新たなマーケットに拡販されております。

当社ターミナル



VAR（一例）

Sler　　商社
（動画コンテンツ配信サービスを付加）

コンテンツプロバイダ　　販売代理店
（コンテンツ・メンテナンスサービスを付加）

システム開発会社　　産業機器メーカー
（顧客向けアプリケーションを付加）

最終顧客（一例）

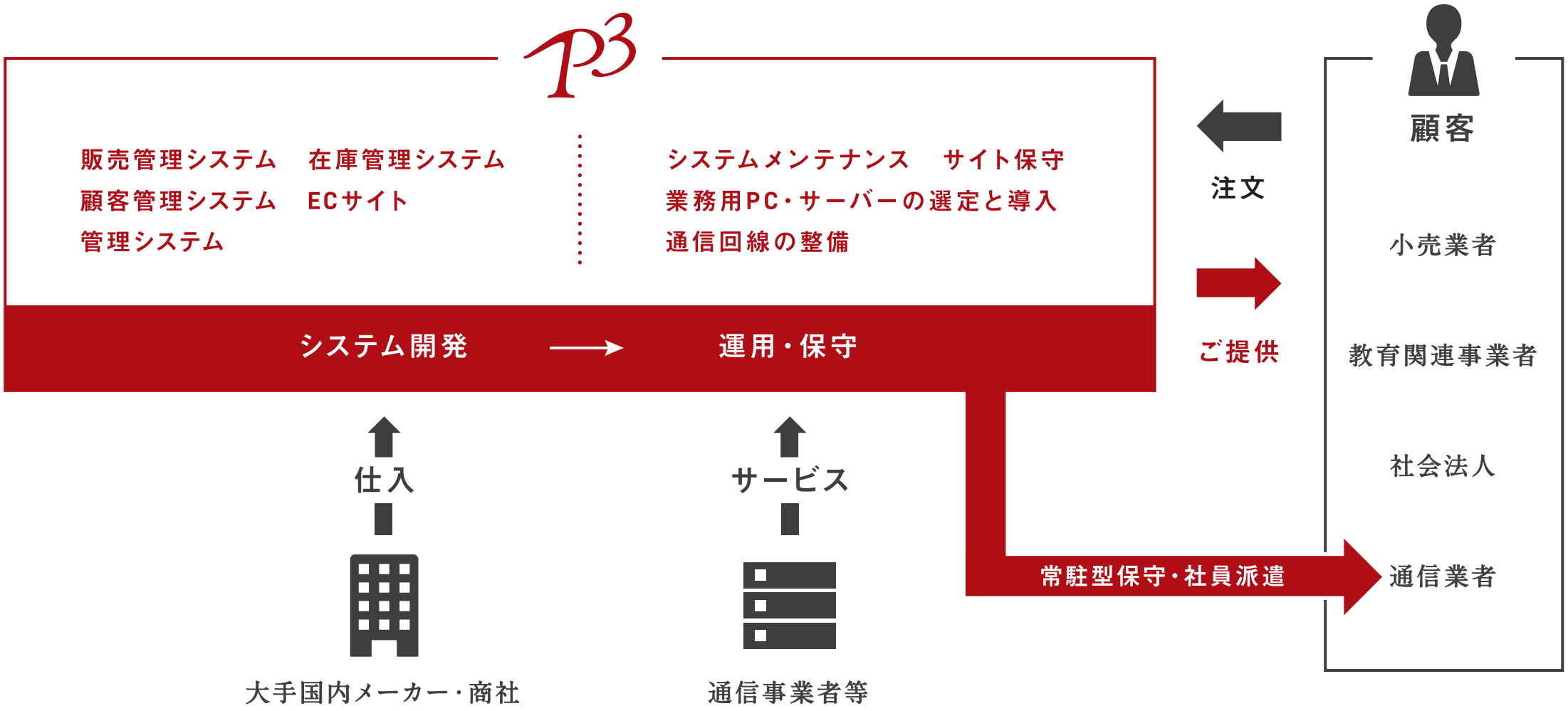
ホテル・病院　　官公庁等

公共施設運営者　　冠婚葬祭施設

生産拠点　　物流施設

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

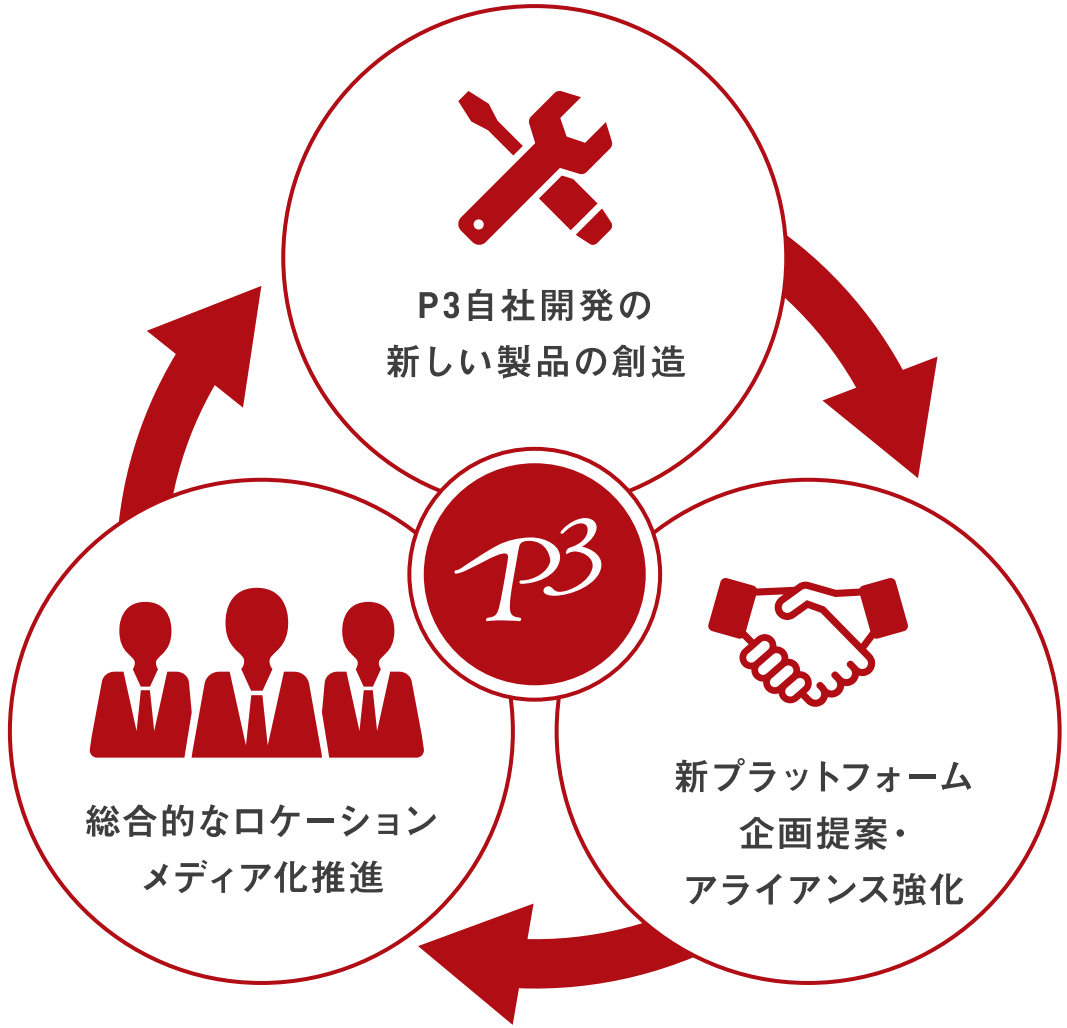
業務システムの構築、アプリケーション開発及びターミナルの導入支援、並びにそれらのメンテナンスをご提供しております。



Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

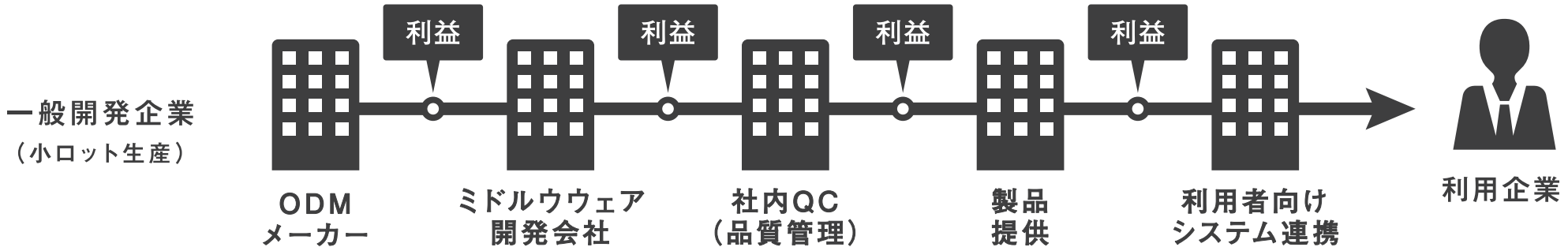
Platform, Planning& Product事業

様々な人が集まる場所のロケーションオーナー、パートナー企業様に向け、各広告主様のニーズに合わせたPlatform＆Planning（企画提案）、Product（製品開発）、総合的なロケーションメディア化までピースリー1社で提案可能。お客様の価値が最大化するよう最善のソリューションをご提案いたします。



Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

ファブレスをベースとし、製品設計開発からサービス提供までを一気通貫で行うビジネスモデルです。





徹底した流通経路のコストダウンと垂直統合型体制が価値競争力へと繋がり独自市場を可能にします。

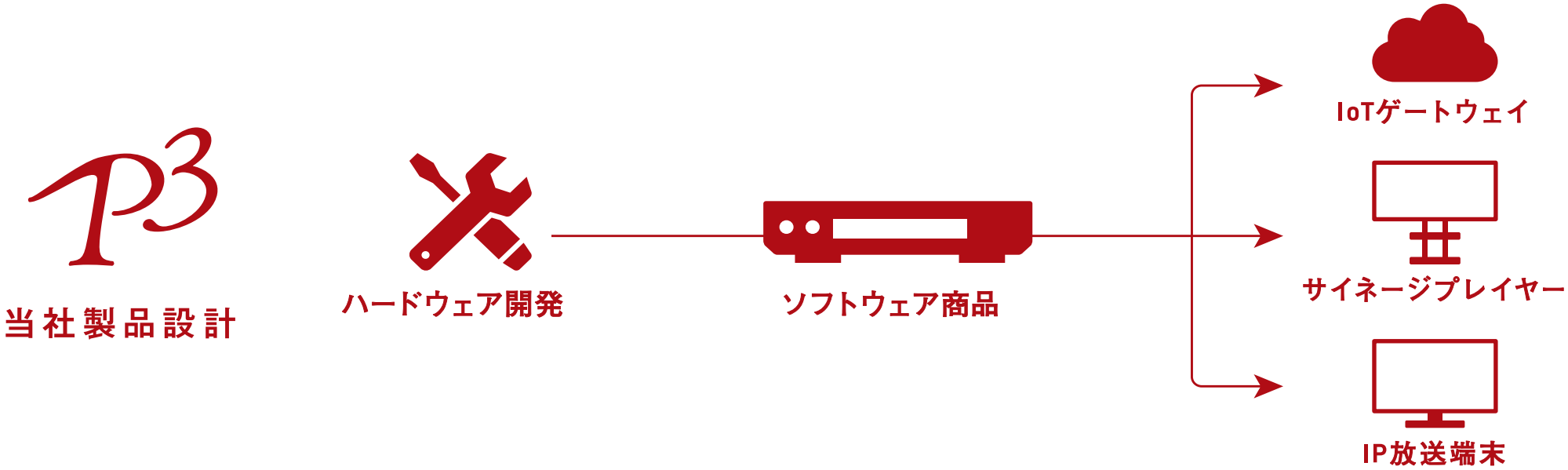
※VAR＝Value Added Reseller（付加価値再販パートナー）

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

あらゆるプロジェクトにも利用できるよう、ソフトウェアは機能毎にモジュール化を行います。



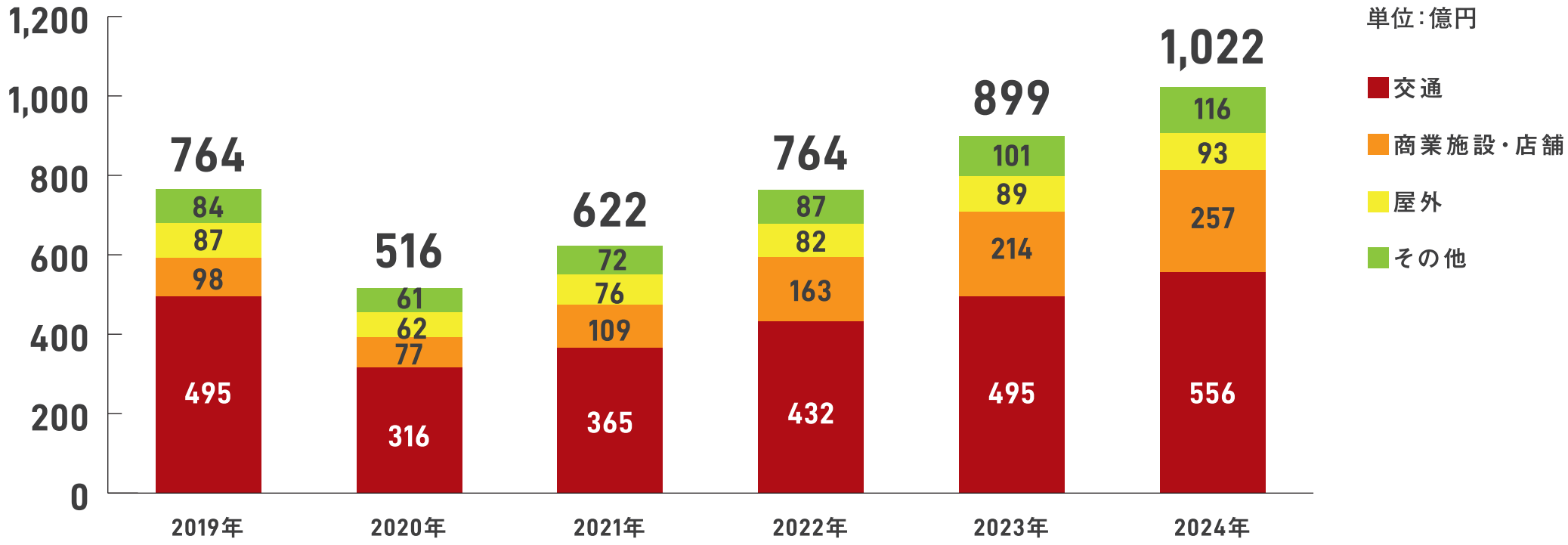
販売台数が少ないと、ソフトウェア償却が高額になり大量生産、又はコモディティのみでしか利益が出せません。



Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

デジタルサイネージ市場規模

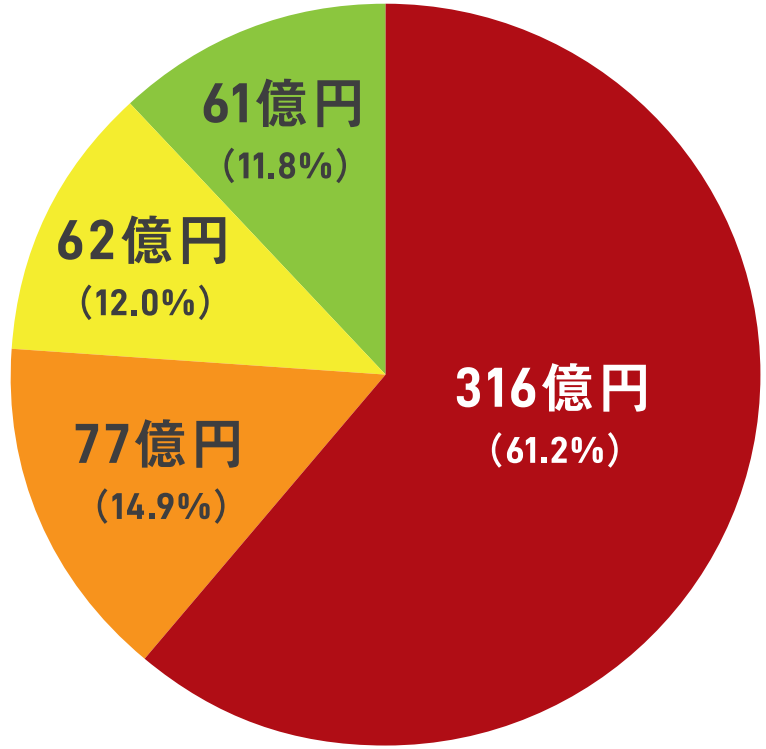
新型コロナの感染拡大にともなう外出自粛により、デジタルサイネージと生活者の接触数が大きく減少。2020年のデジタルサイネージ広告市場規模は、前年比で32%減の516億円となる見通し。一方、2021年以降はコロナ禍が収束すると見込んで回復基調となり、2024年には1,022億円に達すると予測。



Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

デジタルサイネージ市場規模

メインとなる「交通機関」セグメントは、利用者の大幅減少にともない、出稿も大幅に抑制も、既に2020年後半以降、需要回復の兆しが見られる。また、プログラマティックによる広告配信、大型サイネージの広告商品などが、今後市場を牽引すると考えられる。その他セグメントについても同じく、活発な取り組みが改めて回復すると考えられる。



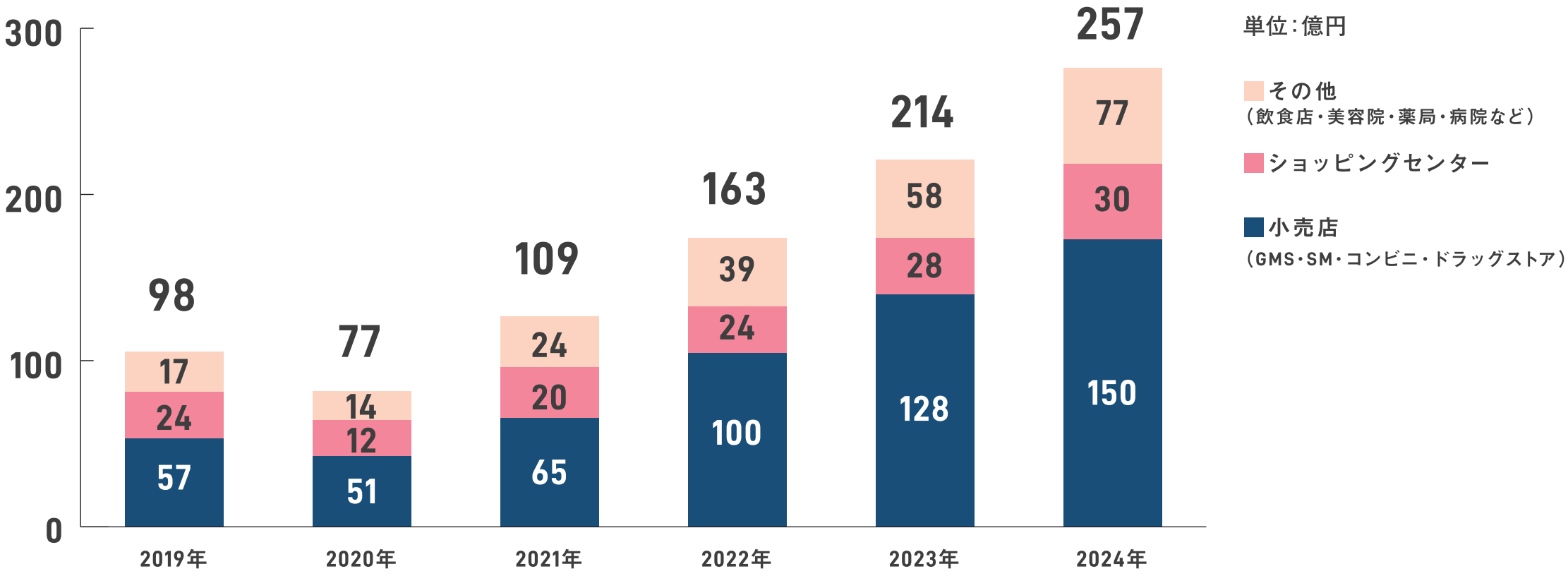
合計

516億円

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

デジタルサイネージ市場規模

「商業施設・店舗」セグメントでは、従来の販売員による対面販売に代わる手法として、デジタルサイネージが急拡大する可能性もあり、2020年の77億円から、2024年には257億円まで市場が拡大すると予測。



CCI（CARTA HOLDINGS）/ デジタルインファクト調べ

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

その先に人がいる



Platform Planning & Product

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.

免責事項

・本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標等が記載されております。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。

・別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されております。

・当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

・本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に属しており、電子的または機械的な方法を問わずいかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。

Copyright© 株式会社ピースリー All Rights Reserved.